

第44回山武郡市 議会議員研修会

平成20年7月3日、成東文化会館のぎくプラザを会場に、山武郡市議会議員研修会が開催されました。

当日は、功労者の表彰の後、城西国際大学観光学部ウエルネスツリーズム学科教授の倉林眞砂斗（くらばやしまさと）先生から「市町村連携による観光での地域活性化について」という演題でご講演をいただきました。

講演では、倉林先生の専門分野である考古学的視点から考えた日本文化の特性や地域の魅力と情報発信の威力などについてお話をされました。先生は、現在は情報化社会であり、インターネットや携帯電話を活用し地域の最新情報を発信することが重要である。

また、国際化にも対応した多言語での情報提供の必要性や大学と連携することが地域活性化につながるのではないかと話されました。

市議会としても成田国際空港に隣接する立地条件を活か

し、今後も更に研究を重ね成田国際空港と共に共栄する山武市づくりのため取り組んで行きます。



山武郡市議会議員研修会（のぎくプラザ）

議会運営委員会

研修報告

7月15日（火）～17日（木）、議会運営委員8名と正副議長の計10名で、議会改革と議会運営などを研修するため、北海道苫小牧市議会と登別市議会を訪問しました。

山武市も本年3月の第一回定例会から対面式で行う一問一答式の一般質問を取り入れ、議会運営の効率化と十分な審議が成されるよう議会改革に

取り組んでいるところで、山武市議会として、今後さらに市民の付託と信頼、市民の視点に立った開かれた議会運営、効率的かつ濃密な議会機能のさらなる向上のために、今回、先進2市の議会を対象に議会運営委員会として研修を実施しました。

15日視察先の北海道苫小牧市は、人口約17万3千人、議員数30人と人口規模としては山武市より大きいが全国市議会議長会で議会改革の取り組み事例が紹介されるなど議会改革の先進的な市として選定しました。

苫小牧市議会では、議会改革のため議会改革特別委員会を設置し、一般・代表質問の質問時間など14項目を検討項目とし協議・検討を行いながら議会改革に取り組んでいました。

また、インターネット中継で本会議だけではなく予算・決算の各審査特別委員会の中継も行うなど市民に広く議会での審議の様子を公開していました。

16日視察先の登別市は、人口約5万4千人、議員数21人と山武市とほぼ同規模であり

議会改革の中で議会定例会を年4回から年3回に減らすなど議員がどの様に議会改革に取り組んでいるのか参考にしたいと選定しました。

登別市では、議案説明口述を事前に電子媒体で提供することにより、各議員は本会議場に貸与されたパソコンを持ち込みその都度内容を確認しながら審議に参加するなどIT化が進んでいました。

また、各常任委員会は、一年間の活動計画を作成し計画的に委員会活動を行いながら、議会ホームページで活動報告を公開するなど委員会活動の充実・強化を図っていました。

更に、定例会を年4回から年3回に減らした代わりとして、地域に向き市民の意見・提言を直接、市民と対話しながら聞く機会として「議会フォーラム」を開催していました。

研修の総括として、2市とも議員自ら積極的に議会改革に取り組んでいる姿勢に共感しました。

議会改革への取り組みは地方分権の進行により重要性が増し、市民の付託に因應するためにも、議員一人一人のさらな

る能力向上と自覚が必要だということを確認し合い、良い所は今後の議会で活かしていきたいと思えます。

最後に、多忙中にもかかわらず視察を快く受け入れをし、ご指導を下さった苫小牧市議会、登別市議会、両市議会の関係者の方々に深く感謝し研修報告いたします。



苫小牧市役所



登別市役所